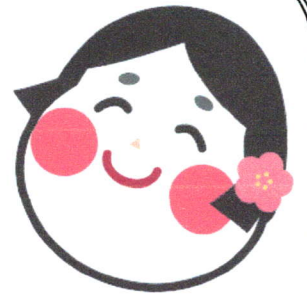




# 徳成寺 寺比から片及 第170号 2021年2月



-発行責任者-

住職

大山健児

坊守

大山ひめ

いつもありがとうございます。住職の大山です。

今年に入り、よくお悩み相談を頂いています。コロナの影響

なのかも知れませんが。浄土真宗の人間観は「煩惱成就の凡夫」です。

「煩は、身を煩わす」「脳は心を悩ます」と言われます。何が成就しなく

とも、煩惱だけは成就するのが人間だと教えています。しかも人間の知恵で

見出したのではなく、仏様の智慧が見出した人間です。その事実逆天らって、

なんとか悩みを解消したいと躍起になるのも、これまた人間です。

しかし悩みが1つ解消したら、また新たな悩みが生まれます。次から次へと

限りなく。悩みを解消したい無数の誘惑をしりぞけて、生まれた意義と生きる

喜びを、現在只今の自分自身において見出すシンプルな生き様は、いかが

でしょうか。シンプルイズベストです。



## 大山超世の耳を澄ませば

いつもお世話になっています、長男です。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去るとよく言いますが、今年はその通りになりそうです。先月は妻と物件の入居手続きをしました。今月は引越しと住環境の整備、3月に妻がやってきて、じきにお彼岸がやってくると言うことになります。学生時代に神奈川へ引っ越した際に入居の際に鍵の受け取りが間に合わず、家に入ることが出来なかったり、お風呂やガスや電気が使えない、カーテンと照明も買い忘れて大慌てと言うことがあったので、手配できるものに関しては不備がないように予め手配をしました。失敗は成功の母とはよく言ったもので、自分自身に変わったつもりがなくても経験は生きてくるものだなとつくづく感じました。写真は宿泊先から物件契約に向かおうとする妻の写真です。新居の方を指して意気込み充分、といった様子ですね。

